

	<h1>地方版 脊損ちば</h1>	<h2>第125号</h2> <h3>2017年6月</h3>
	<p>発行 全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部 〒285-0831 佐倉市染井野 5-42-7 電話 050-3634-7257</p>	

ホームページアドレス = <http://www.normanet.ne.jp/~ww101938/>
 メールアドレス = sijchiba.hide.iioaka@gmail.com



平成29年度千葉県支部定期総会 4月2日 市原市三和健康福祉センター(サンハート)

<脊損ちばNo.125 目次>

<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度千葉県支部定期総会議事録・・・・・・・・・・P2～P4 ・平成29年度第1回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P4～P5 ・平成28年度第5回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P5～P6 ・平成28年度第6回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P6～P8 ・平成28年度第7回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P8～P10 ・平成28年度千葉県支部ピアサポートの報告・・・・・・・・P10～P15 ・平成29年度千葉県支部ピアサポートの報告・・・・・・・・P15～P16 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関するニュース・・・・・・・・・・P15～P17 ・脊髄再生最新医療ニュース・・・・・・・・・・P17～P18 ・家族の足跡達 第22巻 千葉市 露崎耕平・・・・・・・・P19～P20 ・My Style Vol21 千葉市 進藤加代子・・・・・・・・P21 ・HAPPY♥ランチ会のご案内～笑飯(わらいめし)6～のご案内・・・P22 ・ピアサポート実施について・・・・・・・・・・P23
---	---

平成二十九年 度

千葉県支部定期総会議事録

平成二十九年四月二日(日)
市原市三和保健福祉センターサバートホールラウンジ

出席者：(アイウエオ順 敬称略) 13名

飯岡秀之、石井正彦、尾崎ひかる、忍 司、上代有希、金谷喜三郎、佐藤翔太、千葉均、露崎耕平、富田健一、豊田尚洋、中澤恵子、松田よしえ

委任状提出者(アイウエオ順 敬称略) 35名

磯部ゆい、太田貴子、太田学、小倉順子、小倉義人、影山昌子、加藤照雄、蕪野忠雄、川島正美、木内完樹、久我昇、小池好一、小島徳太郎、後藤昌三、小林充浩、齋正仁美、崎村洋介、佐久間昭治、佐久間久佳、渋谷幸子、進藤加代子、周郷 哲、鈴木道子、染谷光司、高岡義雄、高橋友夫、島海三千代、中内貞夫、畠山直久、平島満、松田利夫、三上功生、水澤 茂、村井功夫、吉岡久一

【議事内容】

1. 開会宣言：中澤

2. 支部長あいさつ：飯岡

本日はお忙しい中、総会へお集まりいただきありがとうございます。ごさいます。挨拶に先立ち、今年2月に長年連合会を引っ張ってこられた前代表理事の妻屋明氏が亡くなりました。まだまだ「活躍」いただけるものと思っていたところ、残念で仕方ありません。故人の「冥福をお祈りしたい」と思います。昨年度から、若い方に新役員となっていたいただき、新しい力を借りて会を運営してきました。千葉県支部の未来を考えると、大変うれしい限りです。我々が全

国に様々なことを発信していけるような団体にしていきたく思っておりますので、引き続き今年一年もご協力の程よろしくお願いいたします。

3. 議長選出

議長：露崎

4. 資格審査報告 報告者：富田

会員出席者13名、委任状35名、出席とみなす会員数48名、4月2日現在支部会員100名、会則第17条により総会を開催するには会員の1/3以上の出席(委任状を含める)と認められるので総会は成立とみなす。

5. 黙祷：露崎

議事に入る前に前代表理事の妻屋明氏の「冥福をお祈りし、黙祷いたします。

6. 総会審議事

「第1号議案」平成28年度活動報告 報告者：飯岡

(1) 毎月ピアサポート活動(ロールモデルを含む)を実施してきた。グループピアサポート活動：2回(露崎氏、荒木氏、飯岡氏)

(2) イベント活動について

ハッピーランチ昼食会、ぶどう狩りバーベキュー昼食会、忘年会、みんなの音楽会は予定通り盛況に実施できた。

(3) その他について

第15回総会岡山県大会、第39回関東甲信フロック会議栃木県大会に参加した。

「第2号議案」平成28年度会計報告 報告者：忍

平成28年度監査報告 報告者：中澤
〔詳細は議案書を参照〕

「第3号議案」平成28年度事業計画 報告者：飯岡

① 第6回食事会の開催 7月
② 第25回バーベキュー昼食会の開催 9月

③ 第5回みんなの音楽会の開催 12月

④ 支部忘年会の開催

⑤ ピアサポート活動

⑥ 身障者駐車場マナー啓発活動

⑦ 手動運転装置の無料点検

⑧ シーティングセミナーの開催

⑨ 役員会の開催 4/2 6/18 8/6 10/1 11/5 1/14 3/4

場所は、いずれも市原市保健福祉センター(サンハート)

⑩ 支部会報「脊損ちば」の定期発行 4回/年(6, 8, 11, 3月)

(11) 千葉県支部ホームページ内容の充実

(12) 他県支部及び他団体との交流

(13) 要望活動の実施

(14) 日石レオンとの燃料価格の契約継続

毎月の契約価格をホームページに掲載する。

(15) 脊髄関連及び障害者に関するアンケート調査、モニター等への協力

〔第4号議案〕 平成29年度予算 報告者：忍

〔詳細は議案書を参照〕

〔第5号議案〕 役員組織見直しについて 報告者：飯岡

以下を支部会則から削除する。

第4章 役員

第13条 (種別及び定数)

⑨ ケアプラザ四街道担当…1～2名

⑩ 労災遺族年金担当…1～2名

第14条 (役員の任務)

⑨ ケアプラザ四街道担当は、千葉労災特別介護施設「ケアプラザ四街道」に入

所の会員に対し文書の配布及びその他の連絡を行う。

⑩ 労災遺族年金担当は、会員またはその家族から遺族年金等について相談を受

けた場合、適正な支援や助言を行う。

〔第6号議案〕 役員組織見直しについて 報告者：飯岡

支 部 長：飯岡秀之

副支部長：露崎耕平 若林武

財 務：忍司 豊田尚洋

広 報：千葉均 富田健一

相 談 支 援：露崎耕平 若林武 尾崎ひかる 佐藤翔太

企 画：露崎耕平 若林武

情 報 通 信：千葉均

女 子 会：進藤加代子 中澤恵子 尾崎ひかる 松田よしえ

会 計 監 査：中澤恵子 尾崎ひかる

相 談 役：千葉均 金谷喜三郎

※石井正彦、吉岡久一、荒木太郎は退任されました。お世話になりました。

〔第6号議案〕 その他の案件 報告者：飯岡

(1) 第16回総会沖縄県大会について

6月9日(金)～11日(日)

(2) 第40回関東甲信ブロック会議大会について

茨城県支部担当 会場：埼玉県障害者交流センター 日時は未定

(3) 関東甲信ブロックピアマネシヤ―現任研修会について

埼玉県支部担当 会場：埼玉県障害者交流センター 日時は未定

(3) 意見・要望等

なし

以上が採択されました。

7. 議長の解任 露崎議長解任

8. 閉会宣言：中澤

9. 記念撮影：豊田

平成二十九年

第一回定例役員会議事録

平成二十九年四月二日(日)
中澤市三和保健福祉センターサポーターボランティアルーム

出席者：アイウエオ順 敬称略 13名

飯岡秀之、石井正彦、尾崎ひかる、忍 司、上代有希、金谷喜三郎、佐藤翔太、千葉均、露崎耕平、富田健一、豊田尚洋、中澤恵子、松田よしえ

【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(1)ピアサポート

3月24日 グループピアサポート：テーマ 「外出」

参加者：露崎、尾崎、佐藤、松田

2. 会計監査の実施

3月 財務：忍、豊田 監査：中澤、尾崎が監査を実施

3. その他

(1) 退会者 3月退会：高橋和禧氏(大網白里市)、篠塚巖氏(香取市)、古川正利氏(九十九里町)、大菅幹夫氏(柏市)、兼広輝臣氏(我孫子市)、水澤茂氏(御宿町)、

会員数 4月1日現在 1000名

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. 第16回総会沖縄県大会について
日時：平成29年5月10日～11日(金) 代表者会議(6/9)
支部からの参加者(露崎夫妻)

2. 会報125号を発行について(6/18 発送予定)

(1)原稿作成担当

・平成29年度定期総会報告：飯岡

・平成28年度第1回役員会議事録：飯岡

・千葉リハピアサポート活動報告：千葉

・支部ピアサポートのお知らせ：千葉

・My Style vol. 20：進藤

・家族の足跡 22の巻：露崎

・LIKE：

・食事会の一案内：

②原稿×切168 編集終了印刷依頼 会報納品日6/17

編集終了後、メールかUSBにて直接印刷所に送る 担当：千葉

3. ピアサポートについて

4月：4月25日(水)：テーマ未定 露崎、佐藤、松田

5月：5月24日(水)：テーマ未定 露崎、尾崎、佐藤、松田

4. 食事にについて

開催日 7月9日(日) ホテル日航成田を予定

(昨年より若干早めに実施)

女子会で企画をお願いします

5. その他

今年度のテーマ

・会費や寄付以外にも資金調達の方法を考える。

ex 祭りなどに露店を出す、受けられる助成金を探す

・賛助会員の取り扱いをどうするか検討する。

ex 一般会員と会費差をつける。

◎次回役員 平成29年6月18日(日) AM 10時
サンハート 2F ボランティアルーム
※会議前に脊損ちば125号の発送準備を行う

平成二十八年度 第五回定例役員会議事録

平成二十八年十二月十三日(日)
市原市三和保健福祉センターサンハート二階研修室

出席者：(アイ)ウエ才順 敬称略) 8名

飯岡秀之、上代有希、金谷喜三郎、佐藤翔太、千葉均、露崎耕平、富田健一、中澤恵子

【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(1) ピアサポート

10月26日 テーマ「自動車」 参加者：露崎、佐藤

(2) 脊損リハビリテーション講習会

内容：①手動装置の無料点検

↓アストロ了承済(露崎氏)

②複数メーカーの車椅子展示

↓パンテラ、TIG、OX、その他固定車。各種クッション

を依頼済

2. 脊損ちば第123号

11月13日 会員等に発送

3. その他

(1) 入会者 なし 退会者 なし

会員数 11月12日現在 105名

(2) 忘年会 みんなの音楽会準備

【本部・ブロック報告事項】

1. 平成28年度ピアマネジャー現任研修会(東京都支部主催)

11月5日(土) 13:00~17:00 戸山サンライズ

2. 第39回関東申信ブロック会定期総会(栃木県支部主催)

11月6日(日) 10:00~12:00 戸山サンライズ

(1) 参加者：露崎家

(2) 本部及び関東申信ブロックへの要望事項

・セルフスタンドでの車椅子使用者への対応徹底について

・空港リムジンバスの車椅子対応早期実現について

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. ピアサポートについて

11月：11月16日(水) テーマ未定 参加者：露崎、佐藤、尾崎

12月：12月21日(水) テーマ未定 参加者：露崎、佐藤

2. 脊損リハビリテーション講習会

11月23日(水) 13:30~(開場13:00)

千葉リハビルテーションセンター 大ホール

(1) 内容：①手動装置の無料点検

②自動車展示

③複数メーカーの車椅子展示(千葉リハ担当)

④支部ブースで相談会と会員勧誘

2) 集合：11:00(すぐに食事) 会場設営：12:00

3) 参加者：石井、中澤、金谷、千葉、飯岡

4) 担当：ブース責任者(相談窓口責任者)：飯岡

会報等配布物準備：飯岡

みんなの音楽会。ハンフレット、ボード準備：金谷

無料点検案内：中澤

展示車案内：石井

弁当：金谷

5) 展示車両(2台)：石井 飯岡

3. 忘年会

12月4日(日) 18:00~20:00(受付開始：17:00)

ホテルポートプラザちば 043-247-7211

千葉市中央区千葉港8-5

(1) 会費

宴会のみ115,000円 宿泊込み113,000円

参加申込先：飯岡

(2) 申込み締切り：11月27日

(3) 集合時間：16時30分

(4) 参加者：露崎、忍、中澤、石井、千葉、金谷、豊田、上代、尾崎、佐藤
飯岡

(5) 担当

◎受付：忍

◎駐車場：金谷、上代

◎司会：露崎

◎乾杯：佐藤

◎ビンゴ&カラオケ：露崎

◎しめ：千葉

◎景品：中澤

4. 第4回みんなの音楽会

12月11日(日) 10:00～16:40

千葉リハビリテーションセンター 大ホール

(1) 協賛依頼について

文書と封筒を飯岡が用意して、富田さんが団体に送付する。

(2) ボランティアについて

4名確保済み。

(3) 集合時間：10:00

(4) スケジュール：

10:00 準備開始

11:00 昼食

12:30 受付開始 会場オープン

13:00 はじまりの会

13:15 1部開始 (稲毛おんぶらす)

14:05 1部終了

14:35 2部開始 (ブルーウィング)

15:25 2部終了 おわりの会開始

15:40 終了 撤収開始

16:40 解散

(1) 参加者：露崎、中澤、石井、千葉、金谷、豊田、佐藤、飯岡
(上代さんは後で連絡)

(2) 担当：受付：中澤

司会：露崎 (実行委員長)

お弁当：金谷

◎次回役員 平成29年1月15日(日) AM 10時
サンハート 2F ボランティアルーム

平成二十八年度

第六回定例役員会議事録

平成二十九年一月十五日

市原三和保健センターサンハート二階ボランティアルーム

出席者：(アイウエオ順 敬称略) 10名

飯岡秀之、石井正彦、尾崎ひかる、忍、司、金谷喜三郎、佐藤翔太、千葉均、富田健一、豊田尚洋、中澤恵子

【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(1) ピアサポート

11月16日 テーマ「外出」 参加者：露崎家、佐藤、尾崎

12月21日 テーマ「福祉用具」 参加者：露崎、尾崎

【課題と対策】

本部から未だに今年度上期(4～9月)分の助成金が振り込まれず、参加者に費用を支払っていない。早急に振り込まれない場合は、2月に支部から本部へ支払う本部会費を充当させていただく旨申し入れを行う。本部からの振り込みがあってもなくても、次回の役員会で参加者には10月分までの費用を支払う。

② 脊損リハビリテーション講習会

11月23日(水) 13:30～(開場13:00)

千葉リハビリテーションセンター 大ホール

内容:

① 手動装置の無料点検

② 自動車展示

③ 複数メーカーの車椅子展示(千葉リハ担当)

④ 支部ブースで相談会と会員勧誘

【課題と対策】自動車展示については、展示場所の案内が分かりにくかった点と展示車とわかる工夫が足りなかった。展示案内をいろいろな場所に掲示してもらったことを千葉リハに申し入れるとともに、次回は展示車両の表示を出すようにする。

2. 忘年会

12月4日(日) 18:00～20:00 (受付開始:17:00)

ホテルポートプラザちば 043-247-7211

千葉市中央区千葉港8-5

参加者:26名

【課題と対策】夜の開催の場合、会費が高めの設定になり、若い方の参加が非常に厳しくなる。宿泊者もそれほど多くないので、来年度は昼間の開催を検討する。

3. 第4回みんなの音楽会

12月11日(日) 10:00～16:40

千葉リハビリテーションセンター 大ホール

支部参加者:15名

天候がよかったこともあり、昨年より多くのお客さんが来場された。

【課題と対策】千葉リハに音楽会の案内はしていたが、幹部や上の方にしか情報が伝わっていない、病棟では当日まで開催を知らない方が多かった。千葉リハには末端まで案内が伝わるようお願いしていく。また、寄付の応募が少なく、非常に厳しい採算であることから音楽会の開催に影響しかねない状況である。次回は寄付だけでなく助成も含めた資金調達の方法を検討していく。

4. その他

① 入会者 1月入会:松田よしえ(市原市)

退会者 なし

会員数 1月14日現在 106名

② 寄付 玉木氏、石井氏、宅石氏

【課題と対策】最近エネオスASSOCカードの契約価格が掲示されていない。日石レオンから連絡がないのであれば、久保田所長に連絡・確認が必要。
【確認後】以下の通り。

11月

◎ハイオク1130.0円/リットル

◎レギュラー1119.0円/リットル

◎軽油1197.0円/リットル

12月

◎ハイオク1133.0円/リットル

◎レギュラー1122.0円/リットル

◎軽油1101.0円/リットル

1月

◎ハイオク1135.0円/リットル

◎レギュラー1124.0円/リットル

◎軽油1101.0円/リットル

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. ピアサポートについて

1月:1月25日(水) テーマ「家屋」 参加者:露崎、尾崎、佐藤

2月:2月22日(水) テーマ未定 参加者:露崎、尾崎、佐藤

2. 千葉リハスタッフとの勉強会&懇談会

1月29日(日) 10:00～12:00

千葉リハビリテーションセンター 1階 第13、14診察室

参加者:露崎、豊田、尾崎、佐藤、飯岡

【連絡事項】当日話したい内容等事前にわかっているものがあれば、飯岡経由で千葉リハに連絡する。

3. 平成29年度支部定期総会開催について

- ① 開催日 4月2日(日) 10時~15時
- ② 会場：市原市保健福祉センター(サンハート)
- ③ 検討課題

平成29年度事業計画(案)について(別紙1参照)

【課題と対策】シーティングセミナー等をイベントに絡めてやってはどうか。専門家にお願すること、場所の問題等、実施には検討が必要なため、現段階では事業計画案に入れておき、次回以降の役員会で詳細を検討していく。

平成29年度役員組織(案)について(別紙2参照)

【検討結果】諸事情を勘案し、石井氏、吉岡氏、荒木氏は退任となる。忍氏の次の財務担当として豊田氏に1年間補佐をお願いし、再来年度から主と副を入れ替える。尾崎氏には相談支援と会計監査を兼任してもらう。また、ケアプラザ四街道と労災遺族年金はここ数年活動がないことから廃止する。労災遺族年金の事業が出た場合は、本部に対応をお願いすることとする。

【支部長提案】来年度以降の事業活動は、事業ごとに担当役員が実施に対しての統括責任者としてほしい。詳細は次回以降の役員会で検討の上決定していく。

平成29年度予算(案)について

【検討結果】例年3月の会報に暫定版を掲載していたが、最終的には内容が変わるため、暫定版を公開することあまり意味がない。今回から総会で決定したものを6月の会報に掲載することとする。

4. 会報124号を発行について(3/5発送予定)

① 原稿作成担当

- ・「支部長年頭の挨拶」：飯岡
- ・「平成29年度定期総会の案内」：千葉
- ・「平成28年度事業報告、平成29年度事業計画案」：飯岡
- ・千葉リハピアサポート活動報告：千葉
- ・支部ピアサポートのお知らせ：千葉
- ・My Style vol. 23：進藤
- ・「家族の足跡 22の巻」：露崎
- ・「LIKE」：忍
- ・忘年会開催報告：豊田

- ・第4回みんなの音楽会開催報告：豊田
- ② 原稿×切2/16 編集終了2/20 印刷依頼2/26
- 会報納品3/1

編集終了後、メールかUSBにて直接印刷所に送る 担当：千葉

③ 総会出欠のはがきと会費振込み用紙(個別に金額を記入した通知書も)を同封する。

◎ 次回役員 平成29年3月5日(日) AM10時、サンハート 2F ボランティアルーム

平成二十八年度

第七回定例役員会議事録

平成二十九年三月五日

市原市保健福祉センターサンハート三階ラウンジ

出席者：(アイウエオ順 敬称略) 10名

飯岡秀之、石井正彦、尾崎ひかる、忍 司、金谷喜三郎、佐藤翔太、露崎耕平、富田健一、豊田尚洋、中澤恵子、松田よしえ

【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(1) ピアサポート

1月25日 テーマ「家屋」 参加者：露崎家、尾崎、佐藤

2月22日 テーマ「自動車」 参加者：尾崎、佐藤

【課題】紹介する動画が自分たちのものではないため、質問に対して詳しく答えられない。家屋改造にしても、車のトランスファーにしても、自分たちの動画や写真を撮りそれをピアサポートに提供し、説明してはどうか。

【決定事項】4月の役員会後にまずは試して車のトランスファー動画を撮ってみる。

(2) 個別ピアサポート

1月27日 参加者：荒木

(3) 千葉リハスタッフとの懇談会

1月29日(日) 10:00～12:00

千葉リハビリテーションセンター 一階 第13、14 診察室

参加者：露崎家、豊田、尾崎、佐藤、飯岡

内容：

- ・ピアサポートの場所
- ・リハスタッフがピアサポート実施について知らない
- ・家族のピアサポートについて
- ・ピアサポートの座り方
- ・重い雰囲気になりやすい

2. 脊損ちば第124号

3月5日 会員等に発送。総会出欠のはがきと会費振込み用紙(個別に金額を記入した通知書も)を同封。

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. ピアサポートについて

3月：3月22日(水) テーマ未定 参加者：露崎、尾崎、佐藤、松田

2. 平成28年度会計監査実施について

3月12日(日) 会計：忍、豊田 会計監査：中澤、尾崎

3. 平成29年度支部定期総会開催について

日程：平成29年4月2日(日) 10時～15時

会場：市原市保健福祉センター(サンハート) 2F ボランティアルーム

(1) 内容確認

脊損ちば124号参照

【決定事項】松田さんが役員に就任する。担当は女子会。

(2) 役割分担

① 司会進行 担当：中澤

② 資格審査報告 担当：富田

③ 議長 担当：露崎

④ 第1号議案 平成28年度事業報告 担当：飯岡

⑤ 第2号議案 平成28年度会計報告 担当：忍

⑥ 第3号議案 平成28年度監査報告 担当：中澤

⑦ 第4号議案 平成29年度事業計画案 担当：飯岡

⑧ 第5号議案 役員組織について 担当：忍

⑨ 第6号議案 その他の案件について 担当：飯岡

⑩ 記念集合写真 担当：豊田

⑪ 議案書作成 担当：飯岡

⑫ 昼食・飲み物準備 担当：飯岡

4. その他

(1) 支部財政について

現在の財政状況は、ピアサポートの助成金などで何とかやりくりできているが、これがなければ厳しい状況である。新しい活動を行っていくのであれば、新たな寄付や助成金を開拓していく必要がある。役員の方には、少額でも構わないので寄付をしてくれる団体や助成金を出してくれる機関を探してほしい。

(2) 各種団体との連携について

11月に第52回日本脊髄障害医学会が千葉で行われる。今学会の会長でいつもお世話になっている千葉リハ吉永センター長から要請があり、露崎副支部長がシンポジウムの発表者となった。さらに、支部としてブースも出させていたいくことになった。

また、支部会員の内海氏を通して一般社団法人千葉県作業療法士会と双方の経験や知識を共有することで、協力をさせていただくことになった。まずはホームページのリンクをるところから始める。

【決定事項】来年度は、活動に広がりが出てきているため、4月の新体制で役員全員の名刺を作成する。これを有効活用して少しでも多くの個人、団体にアピールしていく

◎次回総会&役員 平成29年4月2日(日) AM 10時
サンハート 2F ボランティアルーム

平成二十八年

損保協会自賠責運用拠出事業

千葉県支部ピアサポート活動の報告

会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター

◆実施日 11月16日(水) 16:20~17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 外出について

◆参加者

《入院》 S様、S様、A様、S様

《連合会》 露崎様&ご家族、佐藤様、尾崎様

《スタッフ》 山崎 SW:森戸/吉田 OT:佐藤 PT:小針

心理:斯波/藤平

今回は「外出」のテーマで、山崎さんが用意して下さったスライドや、連合会の方からのアドバイス、最後には動画を見たりと盛りだくさんの内容でした。

まずはスライドを見ながら、いくつかのポイントについて確認しました。

一つ目は外出の手段についてです。公共交通機関(バス、電車、飛行機)、自家用車、車椅子自操と様々な手段があります。公共交通機関については、バスはノンステップバスも増えています。バスを利用するには、予め営業所に確認すると良いそうです。また、バス、電車ともに手帳の提示で料金が半額になるもの、JRの場合細かいルールがあり、同伴者がいれば距離に関係なく半額、手帳所持者1人の場合1000円以上利用しないと半額になりません。飛行機の場合も料金が半額になるそうですが、バック料金の方が安くなることもあり、比

較しながら利用すると良いようです。その他、新幹線利用の際も、あらかじめICに相談しておく、車いすでも利用しやすい車両を用意してくれることもあるといったお話もありました。車椅子自操で出かける場合、段差などで転倒する危険もあるので注意が必要です。連合会の方々も転倒した経験がおありでしたが、すぐに周囲の人が助けてくれたそうです。助けてもらう際は、どう持って起こしてもらえばいいかなど、具体的に指示を出すことよとのアドバイスがありました。

次は、外出先で困ることです。トイレは、気温や飲食の状況などでリズムが変わります。風邪など体調が悪い時や、ラーメンなど脂っこいもの、辛い物などを食べるとお通じの出が良くなり過ぎる場合が多いそうなので、注意が必要です。足の痺れや汗、お腹が圧迫されている感じなど、自分自身の排泄のサインが分かっていると、早めに気づけるようになるそうです。また、外出の際は止瀉薬や尿とりパット、着替えなどを準備しておいたり、公共の建物や病院、駅、スーパーなど、予め利用できるトイレを調べておくこと安心です。

外出のための情報の収集の仕方様々です。グーグルマップのストリートビューであれば、行きたい先の段差や駐車場などを目で見て確認することができます。MAP FANという地図サイトでは、目的地までの所要時間を知るのに便利です。その他、当事者ブログなどからは体験談を得ることもできます。

外出の際に必ず持つていくものとして、まずは障害者手帳が挙げられます。また、もしもの時に備えて、着替えや薬は皆さん持ち歩いているそうです。車で移動する方は、車イスのチューブや空気入れ、車イスの部品、移乗をしやすいスライディングシートなど、いろいろなものを車に積んでいるそうです。

そして、「外出の経験を積んでできることを広げていく、自信をつけていくことが大切」とのコメントも頂きました。ホテルやレストラン等に行く際は、あらかじめ車いす利用の旨を伝えておくこと相談に乗ってくれるので、連絡してみるとよとのアドバイスがありました。

最後は、YouTubeにある『車椅子ウォーカー』というシリーズの動画を流し、新幹線や飛行機の利用の仕方を皆さんと一緒に見ました。新幹線では、座席を外して車椅子を置けるスペースを作っている「車椅子対応座席」があったり、多目的室という個室が空いていれば利用できるそうです。飛行機に乗る際は、登場前に機内専用の車いすに乗り換える必要がありますが、連合会の方から、専用の車いす

は自分では操作しにくいので、搭乗直前まで自身の車いすを利用したいと航空各社のスタッフに伝えると良いとのことでした。今回は新幹線と飛行機の映像のみ見ましたが、同じシリーズの動画で様々なシチュエーションを見ることができると、ぜひ皆さんも活用ください。

今回も、基本として押さえておきたい情報から応用編まで、いろいろなお話を伺うことができました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

◆実施日 12月21日(水) 16:20～17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 福祉用具を見てみよう

◆参加者

《入院》 N様、K様 (&ご家族)、S様、O様 《更生園》 1名

《連合会》 露崎様、尾崎様

《スタッフ》 森戸(SW)、太田(PT)、高浜(OT)、山崎、

相澤(生活援助員)、斯波/下地(心理)

今回は「福祉用具を見てみよう」と題して、皆さんと一緒に福祉用具展示室を見に行きました。近年のピアサポートの中では新しい取り組みです。

まずは、「福祉用具」についての基礎知識を得るため、ソーシャルワーカー森戸さんから解説して頂きました。

福祉用具と一口に言っても、「自助具(苦手になっっている部分を補助して生活しやすくするための道具)」、「機能訓練用具(生活に必要な各種動作を訓練するための用具)」、「日常生活用具(障害福祉サービスのうち、日常生活をしやすくするため道具)」、「介護用品(介護を必要とする人の生活を支援するための用品)」など、目的や利用するサービスの種類によって呼び名が分かれるそうです。自助具の例としてはバネのついた握りやすい箸や、食べやすい角度に調整したスプーンなどがあつたり、日常生活用具の例としては移動用リフトやシャワーキャリーが挙げられます。

また、短下肢装具やコルセットなどについては、治療を目的として一時的に使うものは「治療用装具」、日常生活の向上を目的としたものは「補装具」として分け、前者は医療保険を適用、後者は障害福祉サービスを適用するなどの違いがあるそうです。治療用装具の中でも、療養費の対象となるものとならないものが分かれるそうなので、装具を利用する場合はどの制度の対象となるのか

を確認してみましょう。

福祉用具を利用するための制度としては、障害福祉サービス(障害者手帳のサービス)と、介護保険サービスが挙げられます。障害福祉サービスでは、用具類は全て購入に対する助成となりますが、介護保険サービスでは購入するものとレンタルするものに分かれるため、ご自身がどの制度を利用するかを念頭に置いて検討する必要があります。

ここまでのお話を病棟のデイルームで伺った後、皆さんでセンター1階にある福祉用具展示室に移動しました。

ここからは、地域支援室の太田さんにご登壇いただき、脊髄損傷の方々が利用することの多い用具をいくつかピックアップして解説して頂きました。

まずは「段差解消機(昇降機)」です。参加者の方に乗って頂きました。車椅子のまま乗って手元のスイッチをオンすると、台座部分が高く上がっていきま

す。上がる時は電動音がしますが、下がる時は静かに沈んでいく感じでした。ご自宅で、玄関からの出入りが難しい場合に、掃出し窓のところに段差解消機を設置して、床と同じ高さまで上がって出入りすることを可能にする用具です。

次は「バスチェア」、お風呂の湯船に設置し、座った状態で湯船の中に電動で沈んでいける用具です。バッテリー式で動き、湯船の縁と同じ高さの椅子部分に移乗できれば、あとは電動で湯船につかることができます。

続いて「環境制御装置」、声の合図で様々な家電のスイッチを操作できる用具です。参加者がパソコンに向かって「扇風機」と呼びかけるとスイッチが入

り、「風量」と呼びかけることで強弱の切り替えもできました。赤外線を利用したりリモコン式の家電であれば、いろいろなものに応用できるそうです。

「シャワーキャリー」は、メッシュ状の布でできており、座ったままで移動して体や頭を洗うことができます。製品によっては、移乗用リフトと組み合わせ

せてそのまま浴槽に入ることができるものもあります。水分がつくのでカビてしまわないように手入れをするなど、使い方には注意が必要だそうです。

いろいろな道具がどう使われるのかを実際に見てみると、話で聞いたり写真

で見ると、ぐっとイメージが広がりました。連合会の方からは、「時間をかけて自分で行えることでも、毎日の生活の中ではやりきれない場合もある。用具をうまく使って、時間短縮できるといってメリットもある」といったお話も伺

えました。

福祉用具を選ぶ際は、どのようなことを解消したいのか、どのような環境なのかを考える必要があります。福祉用具をうまく使うことで、生活の幅が広がるのだということが実感できた会でした。ご参加くださった皆様、あ

りがとうございました。

◆実施日 1月25日(水) 16:20～17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 家屋について

◆参加者

《入院》 S様、U様、O様、K様、S様、K様

《連合会》 露崎様、佐藤様、尾崎様

《スタッフ》 山崎、吉田(SW)、斯波(心理)

今回は「家屋」のテーマで、自宅で生活するための改修や環境設定のポイントについて話し合いました。

まずは玄関の段差をどう解消するかについてですが、階段をスロープに作り替えるか、段差解消機を使って縁側や窓から出入りする方法があるそうです。スロープを作る際は、あまり急な角度だと自力で上れなくなるので注意が必要です。自走で上りやすいのは3～5度だそうです。自分にはどのくらいの角度が合っているのか、院内のスロープを実際に上がってみて確認するとよいとのことでした。

家に入った後は、室内を車椅子で移動しやすくするための工夫が必要になります。例えば畳をフローリングに直したり、車椅子以外にも移動のために使える用具もあるそうです。連合会の方からは、早川テクノエイドの「カーくん」(介助者が移乗を助ける用具)をご紹介頂きました。

外を走った車椅子のまま室内に入るのが気になる場合は、外用と室内用で車椅子を使い分ける方法もあるそうです。(ただし助成がきくのは「一台分のみ」)

家の中でも、トイレの環境設定は皆さん気になるところだと思います。便座の上ソフト便座を置いて高さや柔らかさを調節したり、据え置き式の柵や発泡スチロール製のブロックを積み上げて手を置く場所を作り、移乗に使っている方もいらつしやるそうです。改修ができる場合は、出入り口を広げて出入りをしやすくしたり、トイレタンクがないタイプに替えることでスペースを広く取ることができます。連合会の方からは、座ったまま届く位置に水場を作ったことで、カテーターの洗浄がしやすくてよかったという体験談もお聞きできま

した。また、賃貸などで釘が打てない場合は、据え置き型の手すりを使う方法もあります。入院中に、院内でしつくりくるトイレ(高さや手すりの位置)を見つけておき、それを参考に業者さんにリクエストしたり、可能であれば改修の場に立ち会って高さ等を確認しながら施工してもらおうという方法も教えて頂きました。

続いてお風呂についてです。湯船に入ると、血流も良くなりお尻を圧から解放してあげられるという利点があります。洗い場の床に高めのすのこを置いてその上で体を洗い、そこから湯船に移る方法や、改修をして湯船を床下に沈めて段差を小さくする方法などが紹介されました。湯船に入る際にバスボードを使用したり、台を設置しておいて足湯だけでもできるようにしている、といった工夫も教えて頂きました。また、どうしても自宅のお風呂での入浴が難しい場合は、訪問入浴のサービスもあります。

次は睡眠環境についてです。マットレスは、実際にいろいろなものを試して自分に合ったものを選ぶとよいそうです。移乗の際にプッシュアップしやすいように、端だけ硬くなっているものもあるとのことでした。マットレスだけでなく、就寝する空間の調整も大切です。遮光や防音のカーテンを使用して、静かな空間を作ること、安眠を得やすい環境を作れるそうです。

家屋改修や用具の購入には助成がありますが、いずれも事前の申請が必要です。また、助成の範囲や額については、利用するサービスの種類(障害福祉サービス、介護保険)や、住んでいる市町村によっても違いがあるそうなので、担当のソーシャルワーカーや市町村の窓口を確認してみましょう。ちなみに本日もお話に出た段差解消機は、障害福祉サービスの場合は購入になり、60万程度、介護保険サービスの場合はレンタルで月々2500円程度だそうです。住宅改修の助成は、介護保険サービスは20万円分までの改修が支給対象、障害福祉サービスの場合は市町村によって違うので確認が必要です。

今回のお話や、院内の環境を参考に「自宅の環境を整える」ことを考えるきっかけができるといいなと感じました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

◆実施日 2月22日(水) 16:20～17:20 / 3C デイルーム
◆テーマ 自動車について

◆参加者

《入院》 K様、H様、N様、K様、T様、K様 《更生園》I名
《連合会》 尾崎様、佐藤様
《スタッフ》 山崎、吉田(SW)、斯波(心理)、大島(OT)

今回は「自動車」のテーマで、自動車に乗る際に気を付けること、乗り方や手続きなどについて話し合いました。

まずは皆さんでいくつかの動画を見ました。介助者が運転する車に乗る方法はいくつかありますが、車の後ろ側から車椅子ごと乗り込むタイプの福祉車両は、スロープを使って上げられるようになっていました。ご自分で運転する場合は、車椅子を自分で積み込む必要があります。外を走っていた車椅子を積み込むので、服や車内が汚れないようにタオルやシートを敷いて防ぐと良いそうです。積み込んだ車椅子が運転中に遠心力で車椅子が動いてしまわないように、ベルトで固定するなどの工夫も教えて頂けました。自力で車椅子をしまう方法以外にも、屋根の上につけたBOXに自動で収納してくれる装置もあります(助成対象外、自費60万円程度)。

実際運転する時は、アクセルとブレーキは手動運転装置を使って手で操作するため、初めは慣れなくて怖いそうです。山崎さんは坂月の教習所で練習をし、尾崎さんは自宅近辺の走り慣れた道で練習したそうです。佐藤さんは、「狭いところで練習しても感覚がわからないから、思い切って公道に出た」と仰っていました。

動画を見た後は、車に乗るにあたって準備すべきことを四つのポイントに分けて教えて頂きました。一つ目、『入院中にできること』としては、「トイレの管理」「車への移乗の練習」「情報を得る」ことが挙げられます。トイレの管理方法は人それぞれですが、ご自身のタイミングに合わせてこまめにトイレに行くようにしたり、長時間の運転になる時はバルーン+レッグバッグで対応する方法があるそうなので、ご自身のトイレのタイミングを把握しておくことが大切です。車への移乗は、リハビリの担当スタッフとも相談しながら進めていく

必要がありますが、車のタイプによってやり方が変わってしまうので、ご自身の車で練習できると良いそうです。

ポイントの二つ目、『乗る前の手続き』としては、ご自身で運転される場合は「運転適性検査」「手動運転装置」が必要になります。運転適性検査は免許センターで受ける必要があります、移乗や操作が問題なくできるかを確認し、免許の書き換えを行なってもらうものです。これを受けてから、手動装置の設置になります。手動装置はメーカーにもよりますが25万円ほどかかり、一部助成金が出ます。

三つ目は、『車の購入・使用にあたっての手続き』についてです。各種助成を受けるには、障害者手帳の取得が必要です。手動装置設置に関する助成の他、自動車税・自動車取得税・福祉車両購入の消費税・手動装置の消費税の免税があります。自動車税と取得税については県税事務所、消費税については役所に申請が必要ですが、ディーラーさんが手続きをしてくれることもあるようなので購入の際に相談しましょう。手帳のサービスとしては各種助成の他に、有料道路の料金割引(ETCを使うと便利)や、公営駐車代免除などがあります。また、警察で手続きをすると「駐車禁止除外証」を発行してもらうことができます、提示することで申請者本人がその日に乗っている車(レンタカー含む)を駐車禁止の場所でも駐車できるようになります(ただし交差点内など法定で禁止されている場所は対象外)。

最後四つ目は、連合会の皆さんが車に乗るにあたって気を付けていることを教えて頂きました。目的地の駐車場に車椅子用のスペースがあるか、調べておくとうまいそうです。もしも専用スペースが空いていない場合は、車椅子を出して降りるためのスペースを確保することが必要になります。ガソリンスタンドでは、セルフ式のところでもスタッフを呼んで事情を話せば手伝ってくれるそうです。出かける時は、トイレの場所をあらかじめ調べておいたり、もしもの時のために着替えを用意しておく、座席に汚れ防止のシートを敷いておくなどの備えが役に立ちます。また、運転中に癒しができないように、ジュエルクッションを使ったり、信号待ちの合間などにプッシュアップをすることも有効だそうです。

ここでご紹介した以外にも皆さんから様々な質問が出たり、車に詳しい参加者の方がいらついたり、情報交換ができました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

◆実施日 3月22日(水) 16:20～17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 外出について

◆参加者

《入院》 O様、K様、一様、K様、一様(5名)

《連合会》 露崎様、佐藤様、尾崎様、松田様

《スタッフ》 山崎、吉田(SW)、斯波(心理)

今回は外出のテーマで話し合いました。連合会からは4名ものピアサポーターにご参加頂き、賑やかなひとときとなりました。

まずはスタッフ山崎さんの作ったスライドを見ながら、外出の目的(通院、買い物、仕事など)、手段(自家用車、公共交通機関、車椅子自走など)、外出先で困ること(トイレ、段差、駐車場など)についての話題提供を頂きました。

公共交通機関の利用に際して、障害者手帳で料金割引が受けられるといった情報に加えて、船舶など特殊なものに乗る時は、事前に問い合わせをしてメールで写真を送ってもらうことで、自分が乗れるかどうかの判断材料になる、といったお話も伺えました。

外出の事前準備・情報収集には、インターネットが役に立ちます。Googleマップのストリートビューは、実際に道路や建物の出入り口の状況を画像で見ることが出来ます。また、マップの経路機能を使うと、目的地までの所要時間を調べられるそうです。その他、当事者ブログから得られる情報もあります。

出かける際の持ち物として、第一に障害者手帳が挙がりました。手帳の提示によって、前述の公共交通機関の運賃割引や、水族館や映画館でも割引が受けられるそうです。また、事前の申請が必要ですが、市町村によってはタクシーの利用料の助成制度があり、タクシー券が一定金額分給付されたり、自家用車があつてタクシーに乗らない人のためにガソリン券がもらえる場合もあるそうです。(自治体によって異なるので確認が必要)

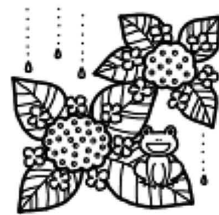
その他に持つていくと良いものとしては、着替えが挙がりました。トイレの管理については、皆さんご自分に合った排泄方法を身につけ、さらにいろいろと工夫して失敗を防いでいるそうですが、それでも失敗してしまうことはあるのです。もしもの時に備えて着替えを車に積んでおくというご意見が複数伺えま

した。

外出先で、例えば転倒してしまうなどのトラブルが起きることもあります。周囲の人が助けてくれるので大丈夫、といった心強いお話もありました。ただ、どのように助けたら良いか分からない人がほとんどなので、「ここを持つて起こしてください」といったように、具体的にお願いと良いとのことでした。

「心配もあると思うけれど、行つてしまえばなんとかなる。いきおいが大事」
「調べすぎて諦めるより、出かけてみた方がいい」といった心強いお言葉も聞きました。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。



平成二十九年 度

損保協会自賠責運用拠出事業

千葉県支部ピアサポーター活動の報告

会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター

◆実施日 4月26日(水) / 16:20～17:30 / 3C

◆テーマ 福祉サービスについて

◆参加者

《入院》 T様、T様、O様、K様、N様、S様、U様、O様

《連合会》 露崎様、佐藤様

《スタッフ》 W吉田、心理、斯波 / 遠藤

全員が自己紹介したあと、ソーシャルワーカーから福祉サービスの種類や内容について紹介してもらいました。参加者から活発に質問があり、連合会の方からは様々な経験談などをお話しいただきました。

まずは『福祉サービスの種類』です。サービスを利用するきっかけ(原因)が事故の場合、①通勤中／勤務中については労災の対象、②交通事故の場合は損害補償(自賠責、任意の保険など)、③その他の事故の場合は介護保険や障害福祉サービスが利用できるそうです。また原因が病気の場合は、年齢によって使える制度が変わり、①65歳以上は介護保険、②40～64歳までで特定疾病の場合は介護保険(特定疾病は16疾病。リウマチ、認知症、脳血管障害などが含まれる)、③40歳未満、もしくは40～64歳までで特定疾病外の場合は障害福祉サービスとなります。

続いて、『身体障害者手帳を使った障害福祉サービス』についてです。(サービス利用時の自己負担は一割。助成金は市町村によって異なる。)①物品などの購入補助(車いす、バスボードなど)、②人的・環境的なサービス利用(ヘルパー、デイサービス、施設入所など)、③住宅改修に関する補助、④その他助成(公共交通機関運賃の割引、自動車関係、税金減免など)があります。これらに関して、連合会の方からいろいろな情報提供をしていただきました。例えば、①購入補助に関して、購入時に役所より先に業者に相談したことで、よりスムーズにサービス利用につながったことがあるという体験談をうかがいました。また、補助金を使わず自腹で購入した物品を修理しようとした時に補助金が出なかったというエピソード、補助金で購入した車いすの耐用年数が過ぎたあとに修理しようとしたら、やはり補助金が出なかったというエピソードなどもうかがいました。②ヘルパーに関しては本人が在宅中である時間帯に利用するという基本があり、使いづらい一面があるという感想もありました。③住宅改修については、利用は1住所につき一回のみと制限される市町村もあるので、注意が必要とのことでした。④自動車関係については、購入時に消費税免除となりますが、中古車を購入する場合には、最初に、改造するので福祉車両扱いです、と伝えて、それを注文書に明記してもらった必要があるそうです。

次に、『介護保険による障害福祉サービス』についてです。(サービス利用時の自己負担は、所得によって1割あるいは2割)①物品などの購入補助(シャワーチェアなど肌や水に触れる物品が対象)、②レンタル(①以外の車いすや電動ベッドなど)、③住宅改修に関する補助(上限20万円)、④人的・環境的なサービス利用(ヘルパー、デイケア、施設入所など)があります。参加者の方からは、「住宅改修補助が20

万というのは随分少ないと思う」という率直な感想が出ていました。

最後は、『年金制度・老齢・障害・遺族・労災』についてです。払っていないから入っていない年金からもらう、ということが原則だそうです。連合会の方からは、扶養家族の有無などでも受給額が変わると情報をいただきました。年金制度改革などで、制度が変更されることもあり、利用開始時に、年金事務所や労働基準監督署労災の場合、ソーシャルワーカーに確認しておくことが大切です。

退院後の生活を支える様々な福祉サービスがあります。情報が多く手続きが大変に思えますが、ご自身全て把握する必要はありません。担当のソーシャルワーカーや連合会の先輩方に相談しながら、退院後の生活のイメージを作っていきます。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

福祉に関するニュース

◎熊本に全国初のバリアフリー仮設

益城町で障害者が年越し

「ようやく落ち着いた生活を取り戻しています」。2016年4月の熊本地震で避難生活を送る作本誠一さん(50)は、熊本県益城町にあるバリアフリー対応の仮設住宅で年越しを迎えた。10代の時に建築現場での事故で頸椎を損傷し、首から下がまひしている作本さんは地震前、実家で会社員の弟と2人暮らしだった。ところが、築100年ほどの自宅は全壊。病院や高校、障害者施設など移転を七回も余儀なくされた後、ようやく11月から今のバリアフリー仮設へ入居できたという。このバリアフリー仮設は全6戸の長屋型で、全国で初めて造られた。間取りは2DK(37平方メートル)で、扉の幅は広く、トイレや浴室への段差もない。地震前まで作本さんは、自宅で過ごすか、家族と買い物に行くことが多かった。



トイレの段差はない



バリアフリー仮設の外観

◎バス運転手、車いす利用者に乗車拒否

県議会 運行公社に配属助言 / 盛岡

千葉県成田市で昨年12月、千葉交通（同市花崎町）が運行するバスに乗りようとした男性が、車いす利用者であることを理由に乗車を断られ差別を受けたとして、「千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会」に、県条例に基づく助言（あつせん）を申し立てていたことが5日、関係者への取材で分かった。同委員会の結果、同社の対応が「障害のある人に対する不利益取り扱いに該当する」と判断、同社へ社員教育の実施などの助言を通知した。先月24日付。県は2007年、全国に先駆けて「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を施行。同委員会は差別をめぐる差別などで申し立てを受けた場合、審理を経て解決への助言等を通ずる。

男性の申し立て書によると、電動車いすを利用する男性は昨年12月11日、成田空港第2ターミナルから同社の路線バスに乗りようとした際、運転手から「（車いす用の）リフトの操作方法が分からない」と乗車を拒否された。バスはそのまま出発、後続便の運転手も応対しなかった。

その後、同社の成田営業所員がバス停にいる男性の元を訪れ、車で目的地ま

で送ると申し出たが、車は車いすの乗車に未対応だったことなどから男性が断った。所員は、バスに搭載されたリフトが利用できない理由として「手動車椅子向けで、電動は乗せられない」と説明したという。

男性は申し立て書で「バスに車いすマークが表示されていることなどから「車いすでも乗車できる」と思ってしまう。リフトの操作方法も早急に教育すべき」としている。

同委員会は通知で、同社の「障害のある人への配慮の認識不足」を指摘。全社員への研修の実施や、リフト操作や接遇のマニュアル整備などを助言した。千葉日報社は5日、千葉交通の親会社を通じて取材を申し入れたが、回答がなかった。

千葉日報オンライン 4月6日(木)



◎身障者用スペースにまさかのバリアす構付けできず / 沖縄

那覇中央郵便局駐車場 ロック装置で車い

那覇中央郵便局の身体障がい者用駐車場に取り付けられたロック装置の突起が「バリア（障壁）」となり、車いすを横付けできず、ドライバーの乗り降りが困難な事態が発生している。2日、自らも車いすドライバーで、県脊髄損傷者協会の仲根建作理事長が現場を視察し、同郵便局に改善を申し入れた。県内で同様の身障者用駐車場は例がないという。日本郵便沖縄支社は、設置に至った経緯を確認中とし「対応を検討したい」と話している。同郵便局の駐車場は昨年3月からコインパーキングとなり、身障者用1台分を含めてロック装置が整備された。15分たつとロック板が上がり、課金される仕組みだ。「10分以上粘ったけれど無理だった」。半年前、普通乗用車の駐車を断念した車いすドライバーの女性（36）は言う。角度を変えて車の出し入れを繰り返したが、車いすの前後輪が突起に引っかかり安定しない。「転びそうで不安で、運

転席から乗り換えられなかった」やむなく通路に停車して職員に事情を説明し、用事を済ませたという。意見箱に配慮を求める投書も出したが、改善されないままだ。同郵便局を頻繁に訪れていたが、今は行けずにいるという。通常、運転席から車いすを降ろし、乗り換える時にはドアを全開にしなければならず、



に設置(2) 身障者用駐車場のロック装置を撤去して青色に塗る(などを提案し「当事者目線に立つて対策を練ってほしい」と求めている。県内大手銀行などのコインパーキングでは身障者用にロック装置はなく無料で、青色に塗って不適正利用をしにくくしている。県外では突起のないロック装置を設置するなど、工夫を凝らしている所もある。

沖縄タイムスニュース

2017年5月3日

脊髄再生医療最新ニュース

脊髄損傷(2015年04月10日 夕刊)

脊髄は脳から背骨の中を通って伸びる中枢神経で、手足などの末端へ脳からの指令を送ったり、末端の信号を脳へ伝えたりしている。厚生労働省の推計(2006年)では、脊髄損傷者数は全国で約6万人。交通事故や転倒、スポーツ時の事故などが要因といわれる。

脊髄損傷とリハビリ(2015年03月04日 朝刊)

背骨の中を走る神経が切れ、体がまひする脊髄損傷の人は全国で約10万人以上いると見られている。突然の事故で起きることが多く、比較的年齢層が若い。専門的なりハビリを受けた場合、5〜10%の人が仕事や学校に復帰している。適切なりハビリを早期に受けることが鍵を握る。

頸髄損傷(2010年05月22日 夕刊)

背骨の中を通る中枢神経の束(脊髄IIせきずい)のうち首の部分の頸髄という。交通事故やスポーツなどで首の骨を骨折・脱臼すると損傷する。頸髄は脳に近いので、重い障害が残る、自発呼吸ができず人工呼吸器に頼る人もいる。頸髄損傷者だけの統計はないが、脊髄損傷で四肢まひになった人は厚生労働省調査(2006年)で2万4600人。

iPSで神経再生に挑む 慶大、脊髄損傷治療で臨床へ

脊髄損傷や神経難病など、再生医療の「本命」と期待されていた病気の治療に向けて、iPS細胞を使った臨床研究が動き出す。これまで脳や脊髄の傷ついた神経細胞を再生させるのは難しかったが、iPS細胞がその可能性を開くと期待されている。

慶応義塾大学は2018年前半にも脊髄損傷に対する臨床研究を始める。岡野栄之教授と中村雅也教授らは10日、学内の倫理委員会に計画を申請した。岡野教授は「(iPS細胞ができる以前の)約20年前から基礎研究に取り組み、ようやく臨床の段階まで来た」と話す。

脊髄損傷は、交通事故やスポーツ事故などで背骨の中の神経が傷付き、体がまひする疾患。国内では毎年約5千人が発症するが、有効な治療法がない。計画ではiPS細胞を神経のもとになる細胞に育てて損傷した脊髄に移植し、手足などの機能回復を目指す。

京都大学はiPS細胞を用いて神経の難病のパーキンソン病を治療する臨床試験(治験)を18年度に開始する計画だ。京大iPS細胞研究所の高橋淳教授が先週明らかにした。

パーキンソン病は脳の神経細胞が減って神経伝達物質が不足し、手足が震え

たり、うまく動かせなくなったりする難病。治療では神経のもととなる細胞を患者の脳に注射し、症状が改善するかどうかなどを見る。

損傷した脊髄や脳の細胞を再生させることはできない。iPS細胞の登場で代わりの神経細胞を作れる可能性が生まれる。患者支援団体「日本せきずい基金」の大浜真理事長は「多くの患者が待っている。安全な細胞を使いながら、早く進めてほしい」と話している。

iPS細胞の再生医療は、14年に目の難病患者に対する初の臨床研究が実施された。だが今回の臨床研究で移植する細胞は数百万個と格段に多く、手術手法も異なる。岡野教授は「一人ひとりの状態を見極め、研究を進めたい」と話している。

日本経済新聞 2017年2月10日

iPSで脊髄損傷治療、臨床研究を申請 慶応大

慶応大学の岡野栄之（ひでゆき）教授らのグループは10日、他人のiPS細胞を使って脊髄（せきずい）損傷を治療する臨床研究の計画を大学内の倫理委員会に申請した。2018年前半の手術を目指す。

計画では、京都大学iPS細胞研究所の「iPS細胞ストック」から供給される細胞を、神経細胞になる「神経前駆細胞」に変化させ、脊髄の損傷部分に注入する。交通事故などで脊髄損傷を起こしてから2〜4週間の患者が対象で、18歳以上の7人に移植し、安全性やまひした手足などを動かす機能の回復具合を調べる。iPS細胞ストックでは、拒絶反応が起きにくい特殊な免疫の型を持つ提供者の血液からiPS細胞をつくり、備蓄している。

今後、学内の倫理委員会と他の委員会での技術的な審査を経て、厚生労働省で計画が了承されれば、来年前半にも移植を実施したいという。まずは損傷から時間があまり経っていない患者を対象にするが、将来的には慢性期の患者にも広げたいと考えた。

グループは、脊髄損傷を起こした小型のサルのマーマモセットにヒトiPS細胞からつくった細胞を移植し、歩けるまでに回復させることに成功している。

脊髄損傷は、国内に現在約20万人の患者がおり、毎年新たに5千人がなっているとみられる。リハビリ以外に確立された治療法はなく、岡野教授は「たくさん患者が待っている。良い細胞を使って、治療につなげられるよう研究をすすめたい」と話す

朝日デジタル 2017年2月10日

iPS治療の普及策工夫を

iPS細胞を使った再生医療が普及へ向けて一歩前進した。理化学研究所や京都大学のグループが他人のiPS細胞を使って目の難病を治療する臨床研究を始め、1例目の手術を無事に終えた。

他人の細胞を使える意味は大きい。患者本人の血液などからその都度iPS細胞を作るのに比べてすぐに治療でき、手間もコストも減らせるからだ。ただ、同じ方法がそのまま様々な病気の治療に使えるわけではなく、課題は多い。

まず、安全性の確認をより徹底させなければならない。今回、治療した網膜は他人の細胞を移植しても拒絶反応が起きにくい性質が知られている。入れた細胞数も比較的少なく、その分安全だ。

一方、期待されている心臓病や脊髄損傷の治療では10倍以上の数が必要になる。体内なので拒絶反応による炎症やがんが発生しても見えにくく、難易度が増す。iPS細胞の円滑な供給も欠かせない。臨床研究では、京大が特殊な免疫型の人の細胞から作り、何重にも品質を調べて備蓄したiPS細胞を使っている。こうした細胞を供給できる機関は国内ではほかにない。米欧のように専門企業が商業的に治療用細胞を作り、病院などに安定提供できるようにすることも課題だ。日本では、2014年施行の改正法で再生医療に使う細胞について新薬承認を得やすくなった。しかし、韓国や米国も追隨して法制度を改めており、普及へ向けた日本の優位は早くも崩れつつある。

再生医療はiPS細胞以外を使う治療もある。病気にとどんな細胞が最適かを判断し、ものによっては海外勢と組んで製品化を加速する工夫もいるだろう。その際、大学や企業は重要な特許をしっかりと押さえ、ライセンス契約をぬかりなく進めてほしい。

保険適用も必要だが広げすぎると財源がもたない。既存の治療と比べ、再生医療がどれだけ効果的かを見極めなければならない。国の普及策は、患者の利益と経済性の両面を考慮する必要がある。

社説 2017年4月6日

二十二の巻

家族の足跡達

千葉市 露崎耕平

こんにちは、みなさんお久しぶりです。

お元気ですか？

うちは相変わらず賑やかにはしゃびます。

子供の成長して本当に早い物です。

しづくは四月から小学校一年生へくるみは三歳になりしづくが通っていた幼稚園に入園して、みのは一歳になり伝歩きもバッチリ、毎朝「パパ」と言いながらベビーカーがまわり立ちをしよう顔をおひきり覗かせるのです。

成長はいつでも嬉しいけれど、切ない感じがするのよ。

そんな事を言いつは、いけなげな顔も知れなげに「もう少し時間が流れるのが遅くてもいいかもな」となんて勝手な想いをしてしまいます。

しづくの卒業式は、いじめから泣きつばなで頭が痛くなるほど、涙腺が完全に開放状態だね。お陰で自分で撮った写真はほとんどがブレしている(涙)

赤ちゃんだったしづくが、こんなに大きくなると、今でも当然可愛くて仕方ないんだけどね。きこちゃん離れすぎないんだろってな笑



これから先子供達をどんな風に育てていけば良いのか？

色々物騒な事件も多い中で、どこまで親が係るべきなのかとても悩む事がある。

しづくは小学生になりマンションの単位となるまで集団登校が有りマンション内の集居場所へ僕が送りに行っていたしづくと歩く少しの時間だけ毎朝とても大切な時間になった。

出発の時間になりしづくが歩いていく姿を見送る、大きなランドセルを背負いながら振り返り手を振りながら歩いていく姿を見ていると朝から泣いてしま

す。

でも周りに人も沢山いるから、泣かない様になっているよ(笑)

くるとみは幼稚園に行き始めてから良くなってるよ(笑)

片言の言葉だけで話していると面白くないよ、で覚えてきたの？みたいな言葉

も話すからたまにビクビクする事があるよ。

先日も二人で遊んでいたら急に「あー寝る時間だ。」と一瞬全然昏倒だよ。ビクトリしたよ。何の話で感じたか(笑)

可愛いからついはいちゅーしちゃた。

みのは部屋に居るとパパッと言いながらハイハイしてきてつかまり立ち。

洗面所に居るとハイハイしてきて、僕の顔を覗き込んで「パパ、パパー！」とこんな

とも言えない笑顔。

どんなに急いでいても手を止めずに入られなくなる魔法の笑顔を持っている。

魔法の笑顔は娘たち二人とも持っているよ、とってもない破壊力なのだー



(玩ぶ入...)

じゅんは二月のお誕生日に自転車とヘルメットを買った補助輪無いくるも
三月のお誕生日に自転車とヘルメット補助輪有りを買った。

じゅんが持っているもの、やってくる事はくるもすぐに欲しいがもしやりたが
る姉妹でこんな感じなんだねまじ。

自転車の練習する事二回目。じゅんは「パー乗れた」と言いながら走って
いた。ハタルのとき方とブレーキの使い方を教えたただなのに子供の身体能力
の高さにも驚かされたよ。

僕は最愛の娘たちに「人として大切な事」を胸に生きて行って欲しい。
勉強なんてそんな良いんです。

一人で生きてくのではない、周りあつての自分が生きて行けるといふ事を感じ
て大切にしたい。

じゅん



『 My Style 』



vol. 21

こんにちは♪昨日今日と雪がちらつくこともあった、まだまだ寒い2月前半に書いています。もうすぐバレンタインデーということで、先日デパートのチョコレート特設会場に行ってみましたら、平日でしたけど大賑わいでした！義理チョコを買わなくなってもう何年かしら・・・とっても気楽です(笑)

自分用チョコは試食しながら吟味して、2種類購入。いつも、温度が10～18度くらいに設定されているワインセラーで、保管しています。チョコレートにとっても、ちょうど良い温度なのです♪

チョコレートにはやはりコーヒーが合う？普段はわたしもその方が多いです。ただ数年前、飲料会社大手のサントリーが、ビールやワインなどに比べてあまり若者に人気のないウイスキーの宣伝を兼ね、「ショコラとモルトのマリアージュ」と掲げて、シングルモルトウイスキーを大段的に売り込みしていました。(ショコラ=チョコレートのフランス語、シングルモルト=単一の蒸留所で造られたモルトウイスキーを瓶詰めしたもの)

バレンタイン前にいろいろなイベントを開いてはそれをSNSで拡散してもらって・・・という、完全に若い女性ターゲットでしたね。わたしはウイスキーも好きなので、シングルモルトを飲むこともありです。ショコラとの相性は・・・うん、いいとは思いますが。時々思い出すとやってみたり(^-^)

でもお互い香りが様々なので難しいかなあという気も。それに、シングルモルトはお手頃価格とは言えないのでね、ホントに好きな方でないとわざわざ合わせないかな～と思いました。実際、この単踰躰はたいしてブームにはならなかったかと。その後、もっとお手軽なウイスキーでのハイボール！で、若い世代にもウイスキーが浸透しましたね(笑)

完全にショコラからウイスキーの話に移りますが♪わたしが初めて「これは美味しい！これ好き！」と感じたウイスキーは、日本のものでした。「余市12年」です。15年も20年も飲んだことありますが、やはり今でも12年の香りと味がいちばん好み。しかし、大ブームになったのでご存知の方も多いと思いますが、2014年のNHK朝ドラ「マッサン」で、ジャパニーズウイスキーの認知度がドドーン！！と上がりました。そして「余市」はもちろんのこと「山崎」や「竹鶴」あたりは市場から消えてなくなりました・・・。

ほとぼり冷めた現在、店頭には熟成期間の記載がないものばかり。今までの商品は原酒不足で、2015年夏頃にはすでに、生産をやめてしまったのです。今ネットで探して出てくるものと言えば、以前の3～5倍の値段設定！きっとブームが終わったあとに高く売ろうと取っておいたのでしょね。本物かどうか疑ってしまって、買うに買えず。高いし。もうホント、泣けてきます(T-T)

わたしにとって「余市12年」は、ちょっとしたご褒美でした。今日は頑張ったよね！自分おつかれさんって時や、香りに癒されたい疲れた時など。以前は7000円前後くらいで購入できてまして、楽天のポイントがそのくらい貯まると、1本交換する、なんてことをよくやっていました。いまだに空きボトルは捨てられません(^-^；

はじめウイスキーの話をする予定はまったくなかったのですが・・・打ち始めたら止まらなくなりました(笑)寒い夜はホットウイスキーもいいですね(*^-^*) ではまた♪

進藤加代子

※お詫び 上記原稿は、脊損ちば124号に掲載するために執筆いただいた原稿ですが、編集人の都合により掲載することができませんでしたので、今回(125号)掲載させていただきます。

HAPPY♥ランチ会のご案内

～笑飯（わらいめし）6～

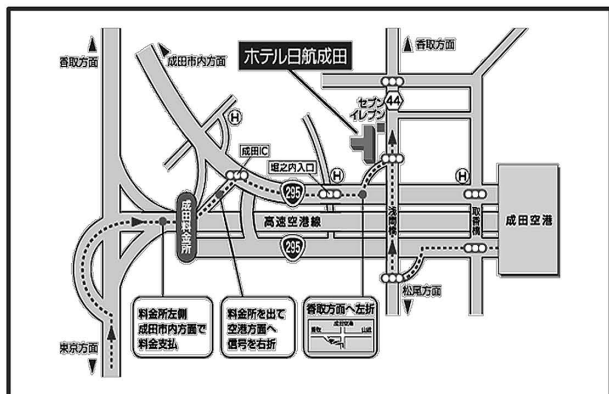


日頃から千葉県支部の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。
HAPPY♥ランチ会～笑飯(わらいめし)～は、今年で6度目の開催となります。
毎年、会員さま同士の貴重なコミュニケーションの場としてとても好評です♪
夏の暑い時期ではございますが、是非ご家族やお友達をお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください、おまちしております！！

- ◆日時 7月9日(日) AM 11:30 受付開始 12:00 スタート
- ◆場所 ホテル日航成田 本館2F/中国料理「桃季」 オーダーバイキング
〒286-0106 千葉県成田市取香 500 TEL: 0476-32-0032
- ◆会費 大人 1名 2500円 (小学生未満は無料)
☆アレルギーのある方は、お申込み時にご申告ください
- ◆駐車場 レストラン利用で6時間まで無料
☆車いすの方のみ、ホテル玄関前に駐車OKと交渉済み。
- ◆車いす用トイレ 新館 1Fに1ヶ所
- ◆締め切り 6月30日
- ◆申込み先 支部長 飯岡まで (050-3634-7257)



- ・東関東自動車道「成田I.C.」にて清算後、右側の空港方面にお進みください。
- ・国道295号線一方通行に入り、一つ目の信号の次の標識(信号の無い交差点)を香取方面に左折すると、正面の高台に日航ホテルが見えます。
- ・信号を左折するとホテル入り口です。



ピアサポート実施について



当支部では、脊髄損傷者当事者が自らの経験を基に脊髄損傷者（頸髄損傷者も含まれます）の悩みや心配ごとなどの相談に無料で応じますのでお気軽にご相談ください。

- ◇ 個人情報は一切外部に漏らしません。
- ◇ 難しい問題については専門相談員や、弁護士をご紹介します。
- ◇ ご家族やご友人、会員外の方も歓迎します。

労災保険法による

長期家族介護者援護金とは・・・

死亡の原因を【業務外】とされた労働者の遺族に「生活の困窮を緩和する」〈＝遺族が自立する〉ために支給される援護金です。この制度は、法律で定められた保険給付ではなく、労災保険法の「サービス」として支給されるものです。このため、援護金が不支給となっても労基署に対し「不服審査請求」を提出することはできません。

援護金の額は、**遺族全体で100万円**です。【一括で支給されます】

■平成29年度実施日

H29.8/6 10/1 11/5

H30.1/14 3/4 相談時間帯 14時～16時

■場 所

市原市保健福祉センター（サンハート）ボランティアルーム（P5案内図参照）

千葉県市原市海士有木225-4

■相談ご希望の方は実施日前日までに下記までご連絡ください。

担当者:飯岡 電話 050-3634-7257 Eメール: sjchiba.hide.ioka@gmail.com

国産車から外車まで
オールメーカー対応



あなたのお役に立ちます

〈介護用品全般・車いす〉

お気軽にご相談ください
〈販売と修理〉

(株)山石商会

〒289-1512

山武市松尾町八田2399-7

TEL (0479) 82-2236
FAX (0479) 82-2246

山武郡横芝光町長倉1308

TEL (0479) 82-2228
FAX (0479) 82-8299

アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッシン自動車工業は2016年4月より、

”株式会社ミクニ ライフ&オート”と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life

発行人 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

編集人 佐倉市染井野5-42-7 頒価二〇〇円

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部



手でアクセル&ブレーキ

手動運転装置

APドライブ

車いすを屋根上へ収納

車いす収納装置

オートボックス



車いすに乗ったまま
スムーズ乗降

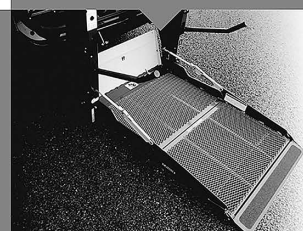
リモコン式

乗降用リフト

車いすの積み降ろしを
サポート

車いす収納装置

ウィンチェア



福祉車両総合メーカー



Mikuni x Nissin automotive industry

株式会社 **ミクニライフ&オート**

〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1
TEL.0480-72-7221
FAX.0480-72-7223
<http://www.nissin-apd.co.jp/>